

一般質問通告書（令和２年１２月定例市議会）

質問 順序	質 問 者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
1	河野 巧	1. 将来を見据えた時の 白杵市消防団について	白杵市消防団員の減少が進むなか、平成３０年６月定例会で一般質問をしましたが、その後の経過について。 (1) 団員確保の現状、問題点、対応策について (2) 分団や部の統廃合を含めた組織のあり方について (3) 団員の処遇改善について		
		2. ＩＣＴ教育における 現状と今後について	国のＧＩＧＡスクール構想を推進する為、これまでＩＣＴ教育の充実に向けた対応として、タブレット端末の導入や学校のパソコン教室の整備等が行われてきた。最近では一人一台となるタブレット端末の整備も計画され準備が進められている。 (1) ＩＣＴ教育を進める上で一人一台となるタブレット端末をどのように活用する考えか、また長期休校等になった場合の学力保障にはどのように活用する考えか (2) ＩＣＴ教育を進める上で教職員の資質向上をどう考えているか (3) 市長が考えるＩＣＴ教育の拡充についての課題と育てたい白杵の子ども像とは		
		3. 都市計画マスタープランの進捗状況と 考え方	白杵市都市計画マスタープランの見直しを始めてから約２年半経過したが進捗状況はどうなっているか。 (1) なぜ見直しが必要だったのか (2) 市全体の都市構造はどう描かれたか (3) 市内の道路網についての考え方と進捗状況		
2	匹田 久美子	1. 文部科学省が示す 「ＧＩＧＡ（ギガ） スクール構想」の具 体的な実現について	(1) 新しい教育の在り方を構築していこうとするＧＩＧＡスクール構想について今後どのように進めていきますか。 (2) 一人一台の情報端末を活用することにより、子どもの学びはどう変わりますか。 (3) ＧＩＧＡスクール構想を実効性のあるものにすると同時に教員の負担軽減にもつながるよう、支援員の配置は検討されていますか。 (4) 今後、情報端末を使った在宅での学びは想定していますか。		
		2. 白杵市における 「同性パートナー シップ証明制度」の 導入と、性の多様性 への理解の深め方 について	(1) 白杵市に住む方々からも制度を望む声が聞かれます。同性パートナーシップ証明制度を望む声に対して、現在の市の認識をお答えください。 (2) 本市において、パートナーシップ制度の導入を検討する予定はありますか。 (3) 「性自認や性的指向は人それぞれである」という多様性を認め合う地域の実現に向けて、今後どのように啓発や広報を行い、市民の理解を深めていきますか。		

一般質問通告書（令和２年１２月定例市議会）

質問 順序	質 問 者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
3	広田 精治	1. 文化財の指定と保護・管理について	(1) 諏訪の真如院跡地の観音像の台座に彫られた碑文が研究者によって解説され、２５０年の時を経て、３８歳の若さで亡くなった藩主への母の悲しみが現在に伝えられることとなった。この『発掘』の持つ歴史的、文化的価値について、市の見解を伺う。 また、関係者は「この観音像の存在を市民の皆さんに知っていただき、…白杵市の宝として永く親しみ、文化財として適切に保存していただくことになれば」と訴えている。今後、文化財保護法、文化財保護条例に基づいて、県、又は市指定文化財として保護され、観光資源としても生かされることを願うが、市の考えを伺う。 (2) 市指定文化財である安政橋などの保護・管理について、一定の財政措置も含めた保護・管理が必要と思うが、市の考えを伺う。		
		2. 「空家等対策特別措置法」に対応した施策について	(1) 空家等対策特別措置法が定める、「倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態」、あるいは「著しく衛生上有害となるおそれのある状態」など４条件のいずれかに該当する「特定空家等」について以下伺う。 ① 特定空家等と判断した件数。 ② 老朽危険空家等除去促進事業補助制度の実績（件数と金額）。 ③ 特別措置法が完全施行された平成２７年以後、特定空家等に対する「助言・指導」、「勧告・命令」の各件数。 (2) すでに操業を停止して久しい工場跡地に対する周辺住民の要望と市の対応、その経緯を伺う。		
		3. 再生可能エネルギーの普及について	(1) 太陽光発電事業は、自然破壊や住民の生活・営農を不安に陥れる場所に建設するのではなく、大型開発されて利用済となった不燃物最終処分場跡地のような場所にこそ建設するのがふさわしく、再生可能エネルギーの普及に対する正しい対応だと確信している。 白杵市不燃物最終処分場跡地をパークゴルフ場として利用する計画が示されたが、再生可能エネルギーの普及に対する本市の基本姿勢について見解を伺う。		

一般質問通告書（令和２年１２月定例市議会）

質問 順序	質 問 者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
4	戸 匹 映 二	1. 農畜産物のGAP認証取得の取り組みについて	(1) G A P 認証取得への市の取り組みについて ① 市のG A P 認証制度取得の取り組みへの考えと市内の取得状況を伺う。 (2) 東京オリンピック・パラリンピックへ向けての対応について ① 東京オリンピック・パラリンピックへG A P 認証農産物の食材提供ができるが、白杵市内のG A P 認証農産品の提供支援に取り組んでいただきたいが如何か。 (3) 今後のG A P 認証取得への支援について ① 次代を担う農家や農場に対し、G A P 認証取得へ向けた啓発及び講習や検査費用などの支援を行っていただきたいが如何か。		
		2. 狭い道路などで活用できる救急車両の導入について	(1) 狭い道路などでの救急搬送状況について ① 高規格救急車が通行できない狭い道路をもつ地域での救急搬送の現状と課題認識を伺う。 (2) 軽自動車の救急搬送車両の活用について ① 狭い道路などでの救急搬送においては、軽自動車の救急車もしくは小型多目的搬送車の導入が必要と考えるが如何か。		
		3. 指定避難所の環境整備と運営体制について	(1) 今年９月の台風１０号による避難について ① 台風１０号で多くの市民が避難したが、指定避難所での市民の避難状況と受入れや運営状況についての検証内容を伺う。 (2) 指定避難所の環境整備について ① 指定避難所の設備や対応など避難環境の均一化へ向けた整備を行っていただきたいが如何か。 ② 風水害等の一時的避難においても、ダンボールベットなどの災害用備蓄品を必要に応じて柔軟に活用できるようにしていただきたいが如何か。 (3) 警戒レベル等の避難情報が発令されることが想定される時の防災関係組織等の連携について ① 警戒レベル等の避難情報が発令されることが想定される場合においては、市が中心となり、消防団・地域振興協議会・自主防災会・防災士連絡協議会・福祉避難所施設などの防災関係組織との事前協議を行うなど連携体制をとり、万全の避難体制を整えていただきたいが如何か。 (4) 指定避難所の混雑状況の可視化について ① 指定避難所の混雑状況をスマートフォンやパソコンで確認できる「リアルタイム空き情報配信サービス」などを導入しては如何か。		
5	奥 田 富 美 子	1. 耕作放棄地への助成について	(1) 白杵市の耕作放棄地について、面積はどのくらいで近年はどのような傾向にありますか。 また、増えることによってどのような問題が有りますか。 (2) 希望する市民に耕作放棄地を貸し出す場合に、固定資産税を軽減するなど検討はなされていますか。		
		2. 新型コロナウイルス感染症対策に関して	(1) 冬場を迎えるにあたり新型コロナウイルス感染症は、湿度を保つことが重要と伝えられています。 小中学校や公共施設において加湿器等の準備はなされていますか。 その他、小中学校や公共施設における、新たな対策の計画はありますか。		
		3. 今後の避難所運営について	(1) 台風１０号では、１５か所の避難所で５６７名と多くの方が過ごしました。新型コロナウイルス感染症対策を実施しながらの避難所運営に御苦労があったと聞いています。 その中で見えてきた課題と今後の対策について教えてください。		